

# 財団法人 堀江オルゴール博物館通信

第 20 号 2010 年 12 月 15 日発行 文責 中田



〒662-0088 兵庫県西宮市苦楽園 4 番町 7-1

TEL.0798-70-0656(ナレオルゴール) FAX.0798-72-0110

<http://www.orgel-horie.or.jp/> Email [info@orgel-horie.or.jp](mailto:info@orgel-horie.or.jp)

## オラトリオ *Oratorio*



当館のシリンダーオルゴールコレクションの中に、Hymn Box と呼ばれる、讃美歌やオラトリオを入れたオルゴールがあります。オラトリオというのは聞き慣れない言葉ですが、代表的な作品はクリスマスシーズンになると日本でもよく耳にするヘンデルの「メサイヤ」(ハレルヤコーラスが有名です) などがあります。本来、讃美歌とオラトリオは性質の異なる音楽ですが、宗教的(キリスト教的)なものを題材にしているという点で共通しており、同じシリンダーの中に入れたと思われます。



1903 年 スイス製 Hymn Box ベル付き 当館所蔵

### 祈祷所から始まったオラトリオ



宗教的(キリスト教的)なものを題材として、独唱・重唱・合唱・管弦楽のために劇的に構成された宗教音楽で、バロック音楽を代表する楽曲形式です。劇的な内容を持っていますが演技はなく、衣装なども用いないオーケストラ伴奏付きの声楽曲です。オラトリオとは、本来「祈祷所」を意味し、教会や修道院に設けられた祈祷用の部屋を指します。16 世紀後半ローマで、反宗教改革の一環としてフィリッポ・ネリが祈祷のための場所(オラトリオ)での礼拝に聖歌や音楽を用いたことに端を発しています。最初のオラトリオは、1600 年に上演されたカヴァリエーリの「靈魂と肉の劇」だと言われています。初期のオラトリオは、衣装も付けて劇も演じるという点においてオペラとほとんど変わらないものでしたが、宗教的な内容を切実に信仰心に訴えるのであれば、演劇的な所作や衣装、舞踏はなくても良い、あるいはむしろ無い方が宗教的な目的に適うと考えられるようになり、演奏会形式へと次第に変貌していきました。

### オペラに代わるエンターテイメント

バロック時代中期(1650 年~1700 年)のイタリアでは、貴族達が宮廷で楽しんでいたオペラが公開劇場の建設により、一般人(軍の将校や大富豪達)にも広がります。しかし教会暦における四旬節中(復活祭の前日までの 40 日間)は、節制の精神で自らを振り返る期間として娯楽の自粛や食事の節制が行われました。オペラの劇場も閉鎖され、世俗的なものは上演を禁じられました。この期間にオペラに代わって人々の耳を楽しませていたのがオラトリオでした。宗教的な啓蒙を目的として作曲されたオラトリオでしたが、次第にその題材は聖書に基づいてはいるもののオペラのように劇的な内容のものが選ばれるようになり、誰でも楽しめるようにこれまでのラテン語からイタリア語で歌う世俗的オラトリオが誕生しました。



# 2010年12月のプログラムご案内

テーマ「人形たちのクリスマス」  
12月1日(水)～25日(土)

但し12月6日(月) 13日(月) 20日(月) は休館

## クリスマスイブニングプログラム

12月18日(土)～12月23日(木)

但し12月20日(月) は休館

夕方5時から夜景を見ながらのクリスマスキャロルとクリスマスオラトリオのオルゴールコンサートです。また、普段公開していない旧堀江邸の広間にあるエオリアン自動オルガンによる演奏も致します。旧堀江邸から眺める庭園のライトアップもロマンチックです。



## 年末年始のご案内

年内の開館は12月25日(土)まで、新年は1月4日(火)から開館致します。この期間のご予約は、メール、FAX、留守電で受付致します。

E-mail info@orgel-horie.or.jp  
FAX 0798-72-0110  
TEL 0798-70-0656

## オルゴール博物館ニュース

秋の庭園散策の写真です。  
もみじやどうだんつつじが色鮮やかに紅葉しました。  
小春日和の庭園でお茶を飲みながらオルゴールの余韻を楽しんで頂きました。  
クリスマスイブニングプログラムではこの庭園がライトアップされます。

